

研究課題番号	3G-2102
研究課題名	工程内廃材使用による廉価高強度チタン合金開発と応用
研究実施期間	令和3年度～令和5年度
研究機関名	大阪大学
研究代表者名	近藤 勝義

1. 委員の指摘及び提言概要

循環技術というよりは、代表者の専門分野である粉末冶金技術として行っており、学術的、技術的には高度な研究開発だと思われる。資源確保の問題の重要性が高まる中で、本研究の重要性が高まった。環境面でも CO₂削減効果があり、希少なチタンの資源安全保障の向上にも寄与することになる。一般に廃材を利用すると、コスト増加、品質低下が避けられない。本研究は廃材を原料としながら含有不純物をプラスに働かせて、品質の高い材料にするという点が高く評価できる。貴重なチタン資源の循環に向けた「水素化チタニウム生成」法の開発を、実用性を含めて成功されつつあると拝察する。特許出願を済まされたとのことなので、今後の学術成果公表を期待する。

2. 採点結果

評価ランク：S